

## 令和4年度物部川清流保全推進協議会総会 議事要旨

日時：令和4年7月26日（火）14:00～16:00

場所：高知城歴史博物館1階ホール（WEB出席併用）

出席者：【委員（代理出席含む）】13名

【事務局】自然共生課長ほか3名

【その他】河川課3名

### 1 高知県林業振興・環境部 自然共生課長あいさつ

- ・会の成立を報告
- ・「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、審議内容をホームページで公開することの了承を得る。

### 2 議題

- (1) 令和3年度物部川清流保全推進協議会の取組について（報告）
- (2) 物部川清流保全計画の中長期目標について（協議）
- (3) 令和4年度物部川清流保全推進協議会の取組について（協議）
- (4) その他（意見交換等）

#### 【議題1に対する概要】

|      |  |
|------|--|
| 委員   | 川本来の姿を取り戻すために(素案)はよく取りまとめられているが、配布したことによる効果の測定はどのように考えているのか。 |
| 事務局  | 環境に配慮した事例を追加していくなど、川本来 WG で情報共有を考えている。                       |
| 委員   | 濁水対策検討会や、土砂管理の方向性について、目標設定を今後どのように行うのか。                      |
| 県河川課 | 昨年度、物部川濁水対策検討会での物部川における総合土砂管理に向けた方向性が決まったので、目標設定はこれから進めていく。  |

【議題2に対する質疑・意見概要】

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | 物部川清流保全計画取組一覧 個票、例えば企業局の取組の実績値・目標値など、効果の検証はどのようにしていくのか。  |
| 事務局 | 山の保水力の回復は、各々の団体や組織の小さな取組を積み重ねて成果が出るため、個々の検証は難しいと考える。   |
| 委員  | 山の保水力について、流域の目標設定を出す必要があるのではないかと。森林整備計画とリンクしていく必要があるのではないかと。目標は早めに設定し、取り組まなければいけない。                            |
| 会長  | 50年前の物部川を取り戻すことは容易ではない。物部川清流保全計画取組一覧 個票や物部川清流保全計画「環境ものさし」の関連性 整理表を継続的に更新するとともに、例えばアユの漁獲量など、課題とともに夢を共有する仕組みが必要。 |
| 委員  | 令和10年にアユの漁獲量30tを目標としているが、水量が確保され豊かな河床形態が保たれば決して無理な数字ではない。ただし、アユが戻ったとしても、漁師が減っているという問題がある。                      |
| 委員  | 目標値を少しでも多く設定していくことが重要。色々な人と議論する場があれば良い。  |
| 委員  | 森林整備は放置林が大半を占めるため、目標到達は極めて困難。また、林道（作業道）開設や皆伐による土砂流出の問題がある。   |
| 委員  | 森林環境譲与税について、県は人材育成、市は手入れできない森林への意向調査と役割分担して取り組んでいる。作業道は高知県森林作業道作設指針の改正を行ったところ。皆伐後は再生林が課題であり、働きかけを行っているところ。     |
| 委員  | 作業道は立地の状況に合わせ適切な方法を取るようになっている。再生林ではシカ対策と密接に関連付けたうえで対応しないと行けない。   |
| 委員  | 物部川水環境勉強会については、立場が違くと理解できないことが多い。知ることが重要で、そのうえで議論する場を設けてほしい。   |

【議題3に対する質疑・意見概要】

|    |   |
|----|---|
| 委員 | <p>流域の課題をどのように広めていくか。流域の人々が物部川をどう思っているか考えるきっかけにしてほしい。水に対する権利など、渇水の時のように困った時でないと思えない。渇水調整協議会での議論を流域の人々に知らせてほしい。</p> <p>また、国有林のシカ対策について、ボランティアだけでは対応が難しい。行政が主となって対応してほしい。</p> |
| 委員 | <p>シカの食害対策については、ボランティア以外でも国の施策で実施しているが、対策が追いついていない状況。ますます力を入れていかなければならないということは十分認識している。</p>   |

【議題4 その他意見交換】

|    |  |
|----|--|
| 委員 | <p>間伐によって植生がしっかり当たって下層植生育成が整備される。痩せた山じゃなくて、豊かな山になっていく必要がある。物部を守っていくために森林が重要であるためしっかりと整備を進めていきたい。(南国市)</p>  |
| 委員 | <p>この物部川が大切だということは十分承知している。具体的なことを進めていくために、課題の共有や見える化をしていかなければいけない(香南市)</p>  |
| 委員 | <p>物部川を取り巻く現状など、流域で勉強しながら進めていきたい。(香美市)</p>   |
| 会長 | <p>総会でのまとめとして、個票や関連性の整理表作成は大きな成果。環境のために配慮する(素案)は新たな展開が期待できる。目標設定については、危機意識を持って、目標の意味を考え、具体的な報告を早く行う必要がある。他分野の状況を知って考える勉強会は大事な取組。作業道やシカ対策、再造林などの森林整備の最後の砦は行政。市民と行政が協働して取り組む必要がある。渇水調整協議会での議論を共有していく必要がある。</p> |

閉会